

## (史料紹介)

### 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

本 宮 一 男

#### はじめに

幕末に締結された通商条約により横浜をはじめとした5つの開港場と東京・大阪の開市が定められ、そうした地に外国人居留地が設置された。こうして、日本を代表する開港場横浜には多くの外国人が居住していくことになり、外国人社会も形成され、それにとまなう独特の文化も展開していった。その後、条約改正によって1899年に居留地制度が撤廃されたが、旧開港場都市への外国人居住状況は大きく変わることはなく、関東大震災に至るまでの間、横浜は日本最大の外国人居住地であり続けた。

こうした日本に在留する外国人の動向は、『日本帝国統計年鑑』や『神奈川県統計書』、『横浜市統計書』といった府県市レベルの各種統計書に掲載されている数値データによって、その概況をおさえていくことができる<sup>(1)</sup>。しかし、上記の統計書における記載データの不連続性、数値の信憑性などの問題をひとまずおくとしても、そこから得られる情報内容（総数、男女別数、戸数、国籍別数など）では、横浜などで形成・展開されていった外国人社会の具体的な姿を把握していくためには大きな限界がある。

日本の代表的開港場として展開してきた都市横浜の近代史を検討していくに際しては、そこで形成・展開されてきた在留外国人社会の実相を明らかにしていくことも欠かせない作業となろう。しかし、そのためには、全般的な統計データに止まらない、在留外国人の個別の情報にまで立ち至った記録データを求めていくことが必要となる<sup>(2)</sup>。

以上の点をふまえ、本稿では、第一次大戦期末における横浜在留ドイ

ツ人を中心とした調査記録を紹介していくこととしたい。

## 1. 史料について

本稿で紹介する史料は、「大正七年四月 神奈川県 敵国人並敵国人ト看做サルベキ者調査表」（外務省記録「外国人ノ身分並挙動取調一件 別冊神奈川県庁調査敵国人名簿」4.3.1.19-1所収）である。この「調査表」は、「本年四月十日現在管内居住敵国人別冊ノ通ニ有之」（1918年4月20日付神奈川県知事有吉忠一より外務大臣後藤新平・農商務大臣仲小路廉宛、神高第一秘号外「敵国人名簿ニ関スル件」）として、神奈川県より外務省へ通知されてきたものである。

第一次大戦によって、ドイツ人、オーストリア人、トルコ人が日本にとって「敵国人」となった。敵国民間人の強制退去ないしは抑留措置がおこなわれた第二次大戦期と異なり、第一次大戦期にはそのまま在留が認められるなど敵国民間人に対する措置は比較的緩やかであった<sup>(3)</sup>。とはいえ、第一次大戦期においても、大戦の進展とともに全体的には日本政府の措置も「敵国人」に対する規制・取締の方向へ向かっていき<sup>(4)</sup>、警察組織には外国人の取締を担当する外事課が設置されていった<sup>(5)</sup>。そうした中で、パリ連合国経済会議での決議に基づき、「対敵取引禁止令」（1917年4月23日付勅令第41号）が公布された（5月14日施行）。本件の神奈川県により作成・通知された「敵国人調査表」は、送付先が外務大臣と農商務大臣の連名であることから伺えるように、この対敵取引禁止令をふまえての措置と推察される。

さて、この「調査表」の記載事項は、県内に在留するドイツ人、オーストリア人、トルコ人各個人に関する「国籍」、「居住地」、「新旧職業」、「戸主トノ続柄」、「姓名」、「年齢」、「備考」からなり、第一次大戦期末における県内在留のドイツ人、オーストリア人、トルコ人各個人に関して、その住所や職業、家族構成、さらにその他付随情報が判明する貴重な史料と言える。そこに記載されている人物数は総計で313名、その国籍別内

訳は、ドイツ人284名、オーストリア人22名、トルコ人5名（うちシリア人2名）、不明2名、また横浜市内居住者と市外居住者はそれぞれ299名、14名であり、その記載情報の大半が横浜在留ドイツ人に関するものである。

なお、本件の「調査表」と比べると個別の情報量はやや少ないが、類似したデータとして、約1年前にあたる1917年5月16日と17日付の『横浜貿易新報』紙上に、「禁商敵国人名」というリストが掲載されている。先述の「対敵取引禁止令」の施行にともない掲載されたものと考えられるが、同記事にも、県内の「敵国人」として取引禁止の対象とされた人名に加え、その住所、職業、家族名が記載されている。そこで「調査表」と『横浜貿易新報』掲載リストの記載内容を照合したところ、『横浜貿易新報』のリスト記載者の約95%が「調査表」に記載され（逆に『横浜貿易新報』リスト記載者は、「調査表」記載者の中の約85%を占める）、その記載内容も大筋で一致していることが確認された。

## 2. 在留ドイツ人等一覧リストの作成方法について

ところで、「調査表」の原書はガリ版刷りのもので、さらにその上に複数の手により多くの追加記載や削除記載などがなされている。ただし、その追加や修正がどの時点で誰によりなされたものなのかは判明せず、重複記載あるいは記載ミスと疑われる内容も各所に見られる。原書の記載順番は姓のアルファベット順に配置することを意図していたことが伺えるが、追加記載等も含めた実際の記載序列は必ずしも一貫したものになっていない。また、原書の記載事項の設定とは異なる情報が記載されている箇所もある。

したがって、史料（「調査表」）の記載どおりに在留者の情報を示していくことは不適當と考え、以下に述べるような点検を施した上で整理・作成した後掲の一覧表をもって、史料記載内容の情報提供を図ることとした。

すなわち、後掲一覧表作成に際しての整理作業の概要を示せば、以下のとおりである。

- ①一覧表での記載に際しては、戸主の姓のアルファベット順、および家族（世帯）単位で配列することを基準に、「調査表」の記載の順を適宜変更した。そのため、一部で姓のアルファベットによる配置と異なる人物もある。
- ②「調査表」において明らかに重複記載となっている人物情報については、一覧表ではひとつにまとめて記載した。
- ③一覧表の整理番号は、家族（世帯）構成がわかりやすいように、家族（世帯）単位で付した。
- ④一覧表の「国籍」欄は、「調査表」の記述内容に従い、ドイツ、オーストリア、トルコ3国の国名のための表記とした。
- ⑤「調査表」において訂正削除されている居住地情報も、当時の在留者の動向を窺う情報となりうると考えられるため、一覧表の「居住地」欄において【 】を付して記載した。また、県外や国外への移動により、ある段階で「調査表」から削除の扱いとなったと考えられるものに関しても、情報提示の意味で一覧表に掲載した。
- ⑥姓名の表記は、一部ディレクトリ等との照合で明らかな誤りと確認されたものの修正をおこなったほかは、原則として「調査表」の記載に従った。
- ⑦「戸主との続柄」、「職業等」の欄は原則として「調査表」の記載に従い、記載のない場合は空欄とした。
- ⑧「年齢」欄は、「調査表」において数値で記載されているものはそのままとし、生年月日等で示されている場合は1918年4月を基準に換算した。なお、「調査表」に記載されている生年月日等は参考のため「備考」欄に記載した。
- ⑨一覧表の「備考」欄は、「調査表」の当該欄に記載されている事項の

ほか、他の項目に記載されている情報も参考のためここに転記した。  
また、「調査表」において訂正削除されている情報についても、参考のため【 】を付して記載した。

### 3. 史料から伺える横浜在留ドイツ人社会の様子

ここで、本件史料（「調査表」）から得られる情報を統計的に整理していくことで、第一次大戦期末における横浜在留ドイツ人たちの様子を簡単にみていくことにしたい。

その前提としてまず、『横浜市統計書』により、20世紀初頭からの横浜在留ドイツ人数の動向を確認していくと、1901年の214名から13年には481名へ増加するが、第一次大戦が勃発した14年に360名へ減少、その後大戦末の18年には268人となっていた。こうした横浜在留ドイツ人の在留欧米系外国人全体に占める比重は、1901年10%、13年12.6%、14年12.9%、18年8.5%で、欧米系ではイギリス、アメリカに次ぐ第3の位置にあった。また、市統計書に記載されている1918年の横浜在留オーストリア人は22名、トルコ人4名となる。

さて、本件「調査表」に記載されている人物数は重複分を除き、140世帯、総計313名、その内訳は、ドイツ人284名、オーストリア人22名、トルコ人5名（うちシリア人2名）、不明2名であり、この中には、他所への移動で既に市内在住ではなくなっている者も含まれるので、『横浜市統計書』に記載されている人数とほぼ一致すると言える。

次に居住地域別に整理すると、山手地区58世帯160人、山下地区20世帯32人、その他横浜市内56世帯107人、そして横浜市外が6世帯14人となり、この段階でも旧居留地地域の比重が大きいことがわかる。

男女別に関しては、男191名、女121名、不明1名となり、男性の比率は約6割、これは当時の横浜在留欧米系外国人全体の様相とほぼ同じである。

年齢構成についてみると、9歳までが75人（23.9%）、10～19歳48人

(15.3%)、20～29歳33人(10.5%)、30～39歳68人(21.7%)、40～49歳46人(14.7%)、50～59歳27人(8.6%)、60～69歳8人(2.6%)、そして70歳以上が5人(1.6%)、不明3人で、平均年齢は27.7歳となる。ひとまず、子供の年齢層の比重の大きさと成人での20歳代の比重の小ささが注目される。

また職業別では、ドイツ系のイリス商会、シモン・エバース商会、アーレンス商会、ライマース商会といった商社関係者が86名と圧倒的な比重を占め、次いで技術者10名、船長等船舶関係7名、教師6名と続く。

### おわりに

以上、本件史料から得られる情報の簡単な統計的整理を試みたが、他の統計データとの比較などを進め、さらにより詳細な分析を進めていく必要がある。そしてなにより、冒頭で述べたようにこの史料の魅力は、各種統計書からは伺うことのできない、当時の横浜在留ドイツ人個人あるいは家族の諸状況が伺えるところにある。

そうした点に関し、最後にいくつか事例を列挙しておこう。

まず、夫が退去受命者となりながらも、妻と子供たち家族でなおも横浜に居住している姿が確認される(No.38、50、121)。このうち、Fokkes(38)とHeitmann(50)の夫はライマース商会員で、この2名を含む同商会員4名は「軍需品ヲ買占メ本国ニ輸送セントシタ」との容疑で1915年10月20日に退去命令が下り、同年10月28日に上海へ退去していた。Steinwascher(121)も「帝国ノ機密ヲ本国ニ通信スル形跡アリ」として1915年5月21日に退去命令が下り、同年6月14日米国へ退去している<sup>(6)</sup>。

また、戸主(夫や父親)が戦争により俘虜となった家族が九州や四国などから移住し、横浜在住のドイツ人方に身を寄せていたり(6、45)、同境遇の2人で同じ場所に居住しているもの(40、106)、あるいは日本人親族のもとに身を寄せているもの(2、123)などの様子も見られる。

第二次大戦期ほどではないにせよ、第一次大戦の勃発により、横浜に在留していたドイツ人たちがどのような状況に遭遇していたのか、第一

次大戦が横浜のドイツ人社会にどのような影響を与えることになったのか。英米に次ぐ欧米系第三の位置にあった在留ドイツ人たちの個人、家族、さらにドイツ人社会の様相をひとつひとつ具体的に明らかにしていく作業が、横浜における外国人社会全体の実像をとらえていく上で重要な前提作業となっていくであろう。本稿で紹介した以上のような個別情報は、他の関係史料の発掘・分析も進め、それらから得られる情報もつきあわせることによって、より具体的で豊かな横浜ドイツ人社会像に導いてくれるであろう。そうした分析を後日に期したい。

## 註

- (1) 横浜に関しては、池田雅夫「(資料) 横浜の在留外国人概況－1870～1938－」(『経済と貿易』169号、1995年)が、横浜在留外国人統計データの概要を紹介している。
- (2) こうした観点から、中武香奈美「居留地制度撤廃時の横浜・長崎におけるフランス国籍者調査記録」(横浜開港資料館紀要)第26号、2008年)が、フランスの領事報告などに記載されたデータを紹介している。
- (3) 小宮まゆみ『敵国人抑留』(吉川弘文館、2009年)7頁。
- (4) 例えば、1916年8月9日付石井菊次郎外相から大隈重信首相宛の閣議請求文書では、「独逸人ノ取締其ノ他対敵措置ヲ一層嚴重ニスルコト極メテ緊要」とされていた(外務省記録「日独戦争ノ際ニ於ケル独逸人処遇振関係一件」5.2.12.36)。
- (5) 神奈川県警察部では、外事担当課として1917年7月に高等警察第一課が設置され、翌18年7月に外事課となった(神奈川県警察史編さん委員会編『神奈川県警察史』上、1970年、784頁)。
- (6) 『読売新聞』1915年10月23日、外務省記録「外国人退去処分関係雑件 独逸人ノ部」4.2.6.21-4。

## (付記)

本件リスト作成にあたっては、横浜開港資料館「横浜外国人社会研究会」の協力を得た。

## 第一次大戦期末の神奈川県在留ドイツ人等一覧

No.	国籍	居住地	姓名	戸主との 続柄	職業等	年齢	備考
1	トルコ	山下町32 フランスホテル	Hassan Abed	戸主	バレン及切抜物輸出商	34	1884年1月生 「リヤ人」仏国政府保護ノ下ニアリ」
2	ドイツ	元町2-112 丸山方	C. Alt	同居		6	「父ハ銘酒店営業ナリシカ目下停業タリ母ハ死 ス」
3	ドイツ	山手町45	A. Altschüler H. Altschüler E. Altschüler Hans Altschüler	戸主 妻 長女 長男	縫製羽二重ハンカチーフ輸出サイモン商会 支配人	31 26 4 4	
4	ドイツ	県下橋樹郡田島村若尾 新田 日本鋼管会社構内	August Aumann	戸主	日本鋼管会社職工長	45	
5	ドイツ	根岸町3648	Emil Eder Avening		山下町160種濃製品販売業プレットシュナイ デル商会書記	55	
6	ドイツ	根岸町3264 ホルベルゲル方	Johanna Barghoon			32	「停業ノ妻」 1885年11月6日生 9月14日徳島市寺町30より移転
7	ドイツ	本牧町923	P. Nicolaus Beckmann Fusa Beckmann	戸主 妻	無職 元山下町43ヘルム運送店荷物係	44 35	
8	ドイツ	本牧町4647 【根岸町2535】	John Behrenz	止宿	東京麹町有楽町1-1 医療器具輸入エーグ ラウス商会(仏国人経営)事務員	33	6月1日移転
9	ドイツ	中村町1400	S-W-A-Benecke	戸主	山下町256雑貨商ウインクレル商会計係	25	
10	ドイツ	山手町217 【山手町118】	Gus Binder	戸主	山下町23電気機械グリー商会(米国人経 営)書記	25	10月24日移転
11	ドイツ	山手町150	Maria Louisa Bleifus Anna Louisa Bleifus	戸主 長女	山下町92元染料輸入貸家業エスエル、ブラ イフス商会主	63 29	
12	ドイツ	根岸町3660	Fritz Bleifus	戸主	山下町92染料輸入貸家業エフエルブライフ ース商会書記	32	
13	ドイツ	山手町43	Beatrice Blind	戸主	山手町40独逸学校教師	27	
14	ドイツ	中郡大磯町誘灌館内	Louis Bobsien			52	1885年生



本宮 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

15	ドイツ	山手町83	Sofie Bobsien	寄宿生	学校生徒	9	1908年6月生
			Rudolf Böhke	戸主	山手町70 保陰機械業品輸入カールローデ商会書記	47	
16	ドイツ	根岸町2248	Rolf Böhke	長男		10	
			Wolfgang Böhke	次男		8	
			Hans Böhke	三男		7	
			Irmgard Lexzau	義妹	山手町40 独逸学校教師	25	Rudolf Böhke妻の妹
17	ドイツ	山手町38 ル方	Isabel Von Borke			32	1885年生 1月1日帝国ホテルより移転
			Otto Carl Von Borke	長男		1	1916年生 1月1日帝国ホテルより移転
18	ドイツ	根岸町3351	Herman Bretschneider	戸主	無職 元雜貨輸出入商	51	
			Aki Bretschneider	戸主	無職	47	「七夫ハ山下町一六〇プレートシュナイデル商会経営者ナリ」
19	ドイツ	根岸町3647	Paul Bretschneider	長男		19	
			Richard Bretschneider	次男		16	
			Emmy Bretschneider	次女		10	
20	ドイツ	根岸町2459	Ferdinand Brockmeier	戸主	無職 元県下橋樹郡田島村日本銅管会社技師	34	
			Lilly Brockmeier	妻		33	
			Fritz Richard Bücsher	戸主	元技師	35	1882年9月生 6月21日長野県軽井沢へ移転 人名等削除除線あり
21	ドイツ	神奈川県高座郡茅崎町 11657	Hedwig Bücsher	妻	無職	27	1890年6月生 人名等削除除線あり
			Ilse Bücsher	長男		4	1913年10月生 人名等削除除線あり
			Sigrid Bücsher	二女		0	1917年6月生 人名等削除除線あり
22	ドイツ	神奈川県高座郡茅崎町 11657 【藤沢町鶴沼6693】	Wilhelm Buntten		シーメンス社員	28	1889年生 6月29日東京市京橋区明石町330より移転、9月30日東京市京橋区築地48へ移転
23	トルコ	山手町266	A. G. Chalhaub	戸主	宝石輸入羽二重窓棧ハンガチーフ輸出シヤロップフレース商会主	39	「仏国保護下ニアリ」
			R. Chalhaub	同居	同社員	30	「仏国保護下ニアリ」
24	ドイツ	根岸町3667	Carl Dietrich	戸主	無職 元下ノ関ラズベ商会員	56	

25	ドイツ	中村町1408	E. F. Doerflinger Frieder Doerflinger	戸主 妻	無職 元山下町221屑糸商コンス商会員	42	
26	ドイツ	根岸町3263	Alfred Dreyer	戸主	山下町256雑貨輸出入商ウイנקレル商会員 □□□同商会ニ通勤ス	45	
			Franciska Dreyer	妻		35	
			Hanne Dreyer	長女		11	
			Lotte Dreyer	次女		9	
27	ドイツ	横浜市根岸町3651	Franz Eekert	夫		38	1879年9月生 10月6日京橋区明石町(築地)32番地より移転
			Hedwig Eekert	妻		37	1880年生
			Dora Eekert	長女		10	1907年11月生
			Franz Eekert	長男		5	1912年6月生
28	オース トリア	【本牧町2896】	Antoning Elked	戸主	東京三井物産会社嘱託員	45	1873年10月生 5月21日東京府下荏原郡入新井村望翠楼へ転居
29	ドイツ	山手町88	Gustav Erich	戸主	山下町29汽船会社代理店薬品染料輸入 アーレンス商会書記	46	
			Rudolf Fachtmann	戸主	山下町45雑貨紙洋酒販売ファハトマン商会 支配人	63	
			Tome Fachtmann	妻		50	
			Fanny Fachtmann	長女		28	
			Otto Fachtmann	長男		27	
			Wilhelm Fachtmann	次男		24	
			Albert Fachtmann	三男		23	
			Theodor Fachtmann	四男		19	
			Erica Fachtmann	次女		17	1901年4月生
			Hans Fachtmann	五男		15	
30	ドイツ	山手町38	Rudwig Fachtmann	六男		12	
			Georg Fachtmann	七男		11	
			Max Fachtmann	八男		9	
			Fritz Fachtmann	戸主	山下町256雑貨輸出入商ウイנקラー商会員	51	
31	ドイツ	山手町39	Curt Falian	戸主	東京市日本橋区増物町26 機械輸入商エル・ レイホルト商会技師	37	
32	ドイツ	根岸町4647	Wilhelm Fehlen	戸主	無職 元山下町43 運送店ヘルム商会書記 兼荷物係	46	10月1日移転
			Asa Fehlen	妻		48	
33	ドイツ	根岸町3640 【根岸町2651】					

本宮 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

		Willy Fehlen	長男		8	
		Paul Fehlen	二男		7	
		Martha Fehlen	長女		5	
34	ドイツ	山下町154 ベルグマン商会内 【根岸町3440ブリウゲル 方】	G. Feldmann	戸主	山下町24化粧品肥料輸入保険業マーヤー 商会書記	27 11月30日移転
35	ドイツ	根岸町3623	Heinrich Feser	戸主	無職 元日本郵船会社船長	45
			Tatsu Feser	妻		36
			Heini Feser	長男		10
36	ドイツ	足柄下郡小田原町緑町 4613	Towa Fisher	戸主	無職	1877年5月生 「夫Gustav Fisherハ「スマトラ」ニ在留開拓ニ 従事シ居ル由」
			Victoria Fisher	三女		10 1907年生
37	ドイツ	根岸町3649	Kurt Flamme	戸主	山下町183薬品染料輸入商フリードリヒ バイエルン商会員	27
			Anna Fokkes	戸主	無職	35 「夫エッチフオックスハ退去受命者ナリ」
			Else Fokkes	長女		11
38	ドイツ	山手町130	Konrad Fokkes	長男		10
			Ursula Fokkes	次女		5
39	ドイツ	根岸町3340	Georg Gans	戸主	山下町29 汽船会社薬品染料輸入商 ハー・アーレンス商会員	32
40	ドイツ	横浜市山手町57	Charlotte Gaul	妻	ドイツ人俘虜ノ妻	1889年9月1日生 元久留米居住
41	ドイツ	根岸町3340	Elisabeth Von Gerschow	戸主	無職	30 「元築地電氣機械商シーメンス商会員ナリシモ 大正六年五月解雇セラル」
			Friedrich Robert Gilbert	戸主	東京市神田区小川町書籍商ガイゼル・ウン トギルベルト商会主	36
			Charlotte Gilbert			
42	ドイツ	山手町219	Carl Friedrich Henry Gilbert			
			Lotte Marie Gilbert			
			Friedrich Hugo Walter Gilbert	次男		3
43	オース トリア	山手町52	L. Goldfinger	戸主	無職 元船舶荷物揚卸業	55

44	ドイツ	山下町198 【根岸町3264】	Kurt Goose Lotte Goose Grete Goose Werner Goose Ruwäder Goose Annelise Marie Goose Anneliese Grabow	戸主 妻 長女 長男 次女 三女 戸主	山下町198 鉦山保険機械輸入商アウトライ マース商委員	37 28 9 5 3 1 26	6月19日移転
45	ドイツ	山下町198	Hedwig Grantoff	戸主	無職	45	5月19日チャイナ号にて米国へ出帆 人名等削除線あり
46	ドイツ	山手町58 ワインベルゲル方	Walter Grantoff	男		9	5月19日チャイナ号にて米国へ出帆 人名等削除線あり
47	ドイツ	山下町29	E. Grimm	戸主	染料輸入汽船会社代理アーレンス商染料 料部主任	32	
48	ドイツ	山手町4	Hans Hansen Sylvia Hansen Kurt Hansen	戸主 妻 長男	染料絨製品輸入汽船会社代理イリス商会 員	44 44 8	
49	ドイツ	根岸町3683	Karl Hassler	戸主	山下町29 汽船会社薬品輸入商アーレンス 商会書記	35	
50	ドイツ	山手町249	Jakoba Heitmann Lieschen Heitmann Anne Marie Heitmann	戸主 長女 二女	無職	37 12 7	「夫シーハイトマンハ退去受命者ナリ」
51	ドイツ	山下町68【久良岐郡屏風 浦字杉田524】	Paul Helm P. Helm	戸主 妻	貸家業	61 59	9月24日市内移転
52	ドイツ	山下町52	Martin Herz	戸主	腸詰製造業	43	
53	ドイツ	山手町2 プラフホテル	Elen Hoene		無職	30	「夫ハ汽船ノ運転手ニシテ海外ニアリト云フ」
54	ドイツ	本牧町305	Alex Hoffmann	戸主	本県橋本郡田島村日本鋼管会社員	61	
55	ドイツ	山手町196 【山手町120】	Karl Höffner Edit Höffner	戸主 妻	山下町196 薬品染料輸入商謙信洋行支配人	44	9月11日移転

本宮 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

56	ドイツ	根岸町3264 【根岸町1161】 【根岸町1162】	Ernst Ludwig Holzberger Kathe Holzberger Ernst August Holzberger Gerhard Karl Holzberger	戸主 妻 長男 二男	東京市麹町区八重洲町シュミット商会	35	5月2日移転 7月1日移転
57	ドイツ	北方町813 【山下町74萬国館】	Theresi Huehne	女	神戸シモンエバース商会記帳係		【5月30日神戸市江戸町101より移転】 11月2日日本橋横物町16、シーボルト商会内に 移転 人名等削除線あり
58	ドイツ	山手町85 セントジョセフ 学校内	Charles Imboff	戸主	教師	32	1886年4月26日生
59	ドイツ	山手町224 【山手町57】	Haru Janson	戸主	無職	38	「夫死亡」 4月28日移転
			Johanna Janson	長女		16	
			Helene Janson	長男		13	
			Walter Janson	次男		11	
			Anna Lochr	義母		70	
60	ドイツ	諏訪町604	Miki Kalkbrenner Rutz Kalkbrenner	戸主 次女	無職	36	「夫ハ浮浪トシテ名古塵ニ収容セリ」
61	ドイツ	山手町126	M. Kaufmann Mrs. Kaufmann F. Kaufmann	戸主 妻 次男	山下町29 雑貨輸出入商シモンエハス商会 主人	60 40 14	
62	ドイツ	青木町輕井沢1858	L. Kiefer	戸主	製菓売薬調剤ノーマルデスベンサリー支配 人	40	
63	ドイツ	山手町127	Georg Kiehl Louise Kiehl Rudi Kiehl	戸主 妻 長男	独逸大使館小使	43 44 10	
64	ドイツ	北方町809	C. Klingemann Kin Klingemann	戸主 妻	山下町29保険機械羅紗輸入シモンエバス 商会書記	55 42	
65	オース トリア	山手町32	Julius Koerting Olga Koerting William Koerting	戸主 妻 長男	無職 元山下町176機械羅紗輸入商カーチ ング商会員	47 36 11	

66	ドイツ	北方町大神宮822	Helene Köhler	戸主	山下町198 鉾山業染料輸入アウトライマース商会員	29	
67	オーストリア	本牧町390	G. Komor	戸主	美術骨董業商会員	28	
68	オーストリア	山下町7	Emil Kosar	戸主	山下町7自動車店セントラルガレージ技師	31	外務省の派書を得て米国赤十字社自動車技師として清境へ出発 人名等削除線あり
69	ドイツ	根岸町3908	Theodoro B. C. Krämer	戸主	山下町54 汽船会社代理薬品染料輸入商 イリス商会タイピスト	30	1887年生
70	ドイツ	元町1-76	Peter Hagmann J. A. Krause	同居 戸主	無職 元船舶荷物揚卸商	11 57	
			Ura Krause	妻		38	
			H. Kummert	戸主	独亜銀行支配人	40	
			W. Kummert	妻		36	
71	ドイツ	山手町180	E. Kummert	長女		5	
			P. E. Kummert	長男		4	
			H. R. Kummert	次男		4	
			O. Kummert	次女		2	
			H. W. L. Kummert	三男		2	
			Eduard Levedag	戸主	東京麹町区有楽町1-12 機械輸入商ポーラー商会員	49	
			Frieda Levedag	妻		39	
72	ドイツ	山手町34	Werner Levedag	長男		15	
			Herbert Levedag	次男		13	
			Edgar Levedag	三男		8	
			Edward Levedag	四男		6	
			Gabriel Levedag	長女		5	
73	ドイツ	根岸町2463 【本牧町2858】	Otto Lindenbergl	戸主	築地明石町48 シーマーズシュツケル会社 会計係	29	1889年1月生 4月29日移転
74	ドイツ	大磯町1359	Carl Löffler	戸主	山下町54 汽船会社薬品染料輸入商イリス 商會会計係	40	
			Eliza Löffler	妻		29	1888年11月27日生
			Elizabeth Cläre Löffler	長女		5	1913年2月7日生
			Carl Rechart Ernt Ludwig Löffler	長男		0	1917年7月生
			Theodra Wilhelmine Löffler	次女		0	去年9月4日生

本宮 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

75	ドイツ	山下町54	A. Löffler	戸主	染料銹薬品輸入汽船会社代理イリス商会 会計係	30	
			W. Ahlers	同居	染料銹薬品輸入汽船会社代理イリス商会 書記	27	
			A. Lubben	戸主	独逸倶楽部書記	37	
			Mrs. M. Lubben	妻		38	
76	ドイツ	山下町235	F. Lubben	長男		13	
			E. Lubben	次男		12	
			R. Lubben	三男		10	
			P. Lubben	四男		7	
77	ドイツ	山手町13	Martin Luther	戸主	山下町204 雑貨輸出商ゲー・ストラス商 会員	30	
			Ima Luther	母		53	
78	ドイツ	山下町88	R. Lutze	戸主	無職 元日本郵船会社機関師横浜鉄工株 式会社員	49	
			Hugo Mahr	戸主	山下町160 自動車護謄製品販売プレッドシュ ナイデル商会支配人	51	
			Ura Mahr	妻		37	
			Rosa Mahr	長女		16	
			Josephine Mahr	次女		14	
79	ドイツ	山手町223B	Wilhelm Mahr	長男		12	
			Hugo Mahr	次男		10	
			Anna Mahr	三女		8	
			Bertha Mahr	四女		6	
			Karl Mahr	三男		4	
			Ernt Mahr	四男		0	1917年7月生
80	ドイツ	山手町40、41	August Menge	戸主	独逸学校教師 (臨時)	60	
81	ドイツ	山下町133 バジリアンホテル 【山下町74葦国館】	J. Meyer	止宿	無職 元山下町176カーテング商会員	34	9月2日移転
82	ドイツ	本牧町1144	Franz Karl Arno Mocker	戸主	無職 元日本郵船会社船長	56	
83	ドイツ	根岸町2332	Minna Mohr	戸主	山下町54 汽船会社代理染料薬品輸入商 イリス商会タイピスト	41	
			Nikola Marko Morgin	戸主	無職 元横浜摩耶町消防組頭	37	
			Meta Maria Morgin	妻		33	
84	オース トリア	山手町186	Uladimir Nikola Morgin	長男		14	
			Vera Slava Morgin	長女		12	
			Sofia Morgin	次女		10	

85	ドイツ	根岸町2038	Gottfried Müller	戸主	無職 元山下町180独立重銀行会計係	36	
86	ドイツ	山手町19	Bernard Adolf Munster	戸主	無職 元海軍技師	73	1844年8月生
87	ドイツ	本牧町303	Willy Neumann	戸主	山下町7自動車商セントラルガレージ機械師	50	
88	ドイツ	山下町74	N. Nielsen	戸主	無職 元日本郵船会社若狭丸船長	57	
89	ドイツ	北方町637	John Nieper	戸主	無職 元運送店荷物係	49	
90	ドイツ	北方町635 【山手町5】	Carl Ferdinand Oberlein	戸主	東京築地18機械輸入商ラスベ商会支配人	57	11月20日
			Fuku Oberlein	妻		50	
			Herman Oberlein	三男		15	
			Max Oberlein	四男		12	
91	不明	横浜市北方町635	Friedrich Oehenstreet		シーメンス会社員	29	1888年9月生 荏原郡入新井村望翠楼止宿
92	ドイツ	根岸町3652	Grete Ohly	戸主	山手40 独逸学校教師	38	
			Diter Ohly	長男		7	
			Gerda Ohly	長女		12	
			Maria Ohly	二女		6	
			Hanna Ohly	二女		6	
			Ida Orth	戸主	音楽教師	60	
93	ドイツ	山手町43	Tomio Kalkbrenner	同居		11	
94	ドイツ	瀬頭町1	Eva Kalkbrenner	同居		8	
			Max Papendieck	戸主	無職 元彫刻師	38	
95	ドイツ	根岸町2038 ジュームラー方	Hermann Wilhelm Paul	戸主	鋳山技師	40	
96	オーストリア	本牧町2872	Hans Pawlowsky	戸主	伯刺児南國政府囑託珈琲検査人	35	1882年10月9日生まれ
97	ドイツ	山下町154 ヘルマン商会内 【根岸町3440】	Georg Pfluger	戸主	山下町154 羅紗縫賃輸入商ヘルグマン書記	33	11月30日移転
98	ドイツ	山手町219	Erich Pieper	戸主	山下町214 縫賃機械輸入トーマスビーバー商会支配人	39	
			Lily Pieper	妻		30	
			Lily Anna Lowise Pieper	長女		0	1918年3月30日生
99	ドイツ	山手町125	Rudolf Pohl	戸主	山下町54 汽船会社薬品染料機械輸入商イリス商会社長	51	
			Johanna Pohl	妻		37	
			Wolfgang Pohl	長男		9	
			Eva Pohl	長女		8	
			Herbert Pohl	次男		6	
			Rudolf Pohl	三男		3	



本宮 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

100	ドイツ	山手町7	Yoshi Pohl	戸主	無職	58	
			Ichitaro Pohl	長男	無職 元山下町67仲買商ポール商会支配人	42	
101	オーストリア	山下町7	Oldrich Prochaska	戸主	山下町7自動車店セントラルガレージ技師	31	
102	ドイツ	本牧町1472	Georg Raufelsen	戸主	無職 元東京市麹町区内幸町エジゼルワイズ商会員	46	
103	ドイツ	山手町120	Werner Georg Reimers	戸主	山下町198鉱山兼機操輸入保険代理オットライマース商会社長	38	
104	ドイツ	山手町71	Friedrich Retz	妹	山下町214貸家業レッツ商会主	27	
			Adale Retz	妻		73	
105	ドイツ	北方町746 前田方	Gustav Richtar	戸主	無職	64	1911年生3月10日生
106	オーストリア	山手町57	Marie Elisabeth Riedle Von Riedlstein	妻	奥国人俘虜/妻		10月3日福岡県三井郡国分村より
107	ドイツ	根岸町2459 【根岸町3340】	Ernst Rohefinger	戸主	山下町29ハーアーレーレンス商会会計係	42	5月2日移転
108	ドイツ	北方町813	Wilhelm Carl Rothchild	戸主	山下町254ハンカチーフ縫貨輸出商サイモン商会員	27	
109	ドイツ	中村町1492	Guster Saaler	戸主	無職 元東京築地イリス商会員(技師)	48	
			Emilie Saaler			43	
110	トルコ	山下町276 【本牧町608】	S. D. Sallah	戸主	山下町55縫貨パテン輸出サラン商会支配人	24	シリア人 1893年生 【米国合衆国保護ノ下ニアリ】
111	ドイツ	山下町123	G. Sanders	戸主	銘酒店営業		
			R. Schmidt Scharff	戸主	無職 元スウェーデンノルウェー国副領事	47	
112	ドイツ	山手町244	Paula Scharff	妻		36	
			Paula Victoria Adele Scharff	長女		12	
			Anna Maria Scharff	二女		8	
113	ドイツ	磯子町590	Amelia Schatzchen	婦人		46	1871年生 東京府下在原郡入新井新井宿1281号より移転
			Albert Schatzchen	男		6	1911年生
			Jhonbern Schatzchen	男		4	1913年生
114	ドイツ	山手町53	Alfred Schmidt	戸主	山下町29汽船会社代理薬品藍輸入保険代理店ハーアーレーレンス商会染料技師	55	
			Johanna Schmidt	妻		48	

115	ドイツ	山下町29 ハーアーレン ス商会内	Gustav Schoffler	止宿	神戸アーレンス商会ノ支配人	49	1869年1月生
116	ドイツ	根岸町2312	Conrad Gotthald Schramm	戸主	無職 元東京市麹町区八重洲町機械輸入 商シュラム商会主	44	
			Eva Schramm	妻		38	
			Gerhard Schramm	長男		4	
			Gersela Schramm	長女		5	1912年生
			Annali Schramm	次女		4	
117	ドイツ	北方町868	Otrud Schramm	三女		0	1918年3月31日生
			Carl Wilhelm Richard Schuffner	戸主	無職 元山下町25絨貨輸出入商シュフ ナー商会主	52	
			Margarete Elise Schuffner	妻		41	
			Carl Wilhelm Richard Schuffner	長男		15	
			Carl Wilhelm Rudolf Schuffner	次男		14	
			Carl Wilhelm Heinrich Schuffner	三男		12	
			Elsa Margarete Hildegard Schuffner	長女		12	
			Fritz Schuffner	四男		5	
			Gertrud Schuffner	次女		1	1916年8月生
			Hans Seidl	戸主	無職 元山下町95羽二重生糸輸出商ナ ホホルツ商会員	37	11月22日移転
118	オース トリア	北方町603 【山手町151】	Henriette Seidl	妻		31	
119	ドイツ	根岸町1161 【県下鎌倉町乱橋材木座 485番地】	Hans Seidl	長男		4	
			H. Splittgerber	戸主	山下町183薬品染料輸入商フリーデルバイ エル商会支配人	31	7月2日移転
120	ドイツ	根岸町2258	Sawa Steinsch	戸主	無職	52	
121	ドイツ	根岸町3288	Ito Steinwascher	戸主	無職	28	「夫「キャプテン・フリッツスタインワッセル」ハ 退去受命者ナリ」
			Katharina Steinwascher	長女		11	
			Heinrich Steinwascher	長男		12	
			George Friedrich Steinwascher	次男		8	
			Albert Bernhard Steinwascher	三男		6	

本宮 第一次大戦期末における神奈川県在留「敵国人」調査記録

122	ドイツ	本牧町4182	Jean Steuernagel	戸主	山下町54汽船会社代理薬品染料輸入 イリス商会書記	35	
123	ドイツ	岡野町54 松村 方	Elice Winnie Frates	妻	無職	35	
124	ドイツ	青木町1780	Misao Straus	同居	無職 元東京市神田区小川町書籍商ガイ ゼル商会員	34	「夫「ストラウス」ハ松山ニ停頓トシテ収容 サレアリ」
125	ドイツ	山下町196	J. Stureke	戸主	無職	56	
126	不明	横浜市根岸町2261 英国人トーマス・ロー方	L. Svendsen	戸主	染料薬品輸入謙信洋行副支配人	33	
127	ドイツ	根岸町3646	Elara Tatzel	戸主	山下町29汽船会社代理薬品染料輸入 アーレンス商会副支配人	29	1888年8月16日生 神戸山手通3-151から8月22日以来左記の場 所に滞在
128	ドイツ	根岸町3456	Ludwig Temme	戸主	山下町89雑貨輸入商ダブルユービー カー商会員	49	
129	ドイツ	山手町45	Louise Temme	妻	山下町202雑貨機械輸入商トーマスビー バー商会支配人	35	
130	ドイツ	本牧町牛込4647	Hellmut Temme	長男	山下町183薬品染料輸入商フリードリッヒ ハイエル商会薬学師	9	
131	ドイツ	山下町52	Gunther Temme	次男	無職 元雑貨輸入商フェーリング商会主	32	
132	オース トリア	山手町358	Helga Temme	長女	無職	6	
133	トルコ	根岸町2471 エンブト人「フワドリ」方	Erika Temme	次女	無職	5	
134	ドイツ	山手町68	Horst Temme	三男	無職	2	
135	ドイツ	根岸町3238 【根岸町3440ザオルグ・ ブリウケル方】	Hermann Teubner	戸主	無職	0	1917年11月1日生
			Georg Thomas	戸主	無職	54	
			Dorothea Thomas	妻	無職	39	
			Werner Thomas	長男	無職	32	
			Joachim Thomas	次男	無職	6	
			Werner Timaeus	戸主	無職	5	
			W. Vehling	戸主	無職	28	
			T. B. Vivienot	同居	無職	50	
			Afmett Wafa	同居	無職	12	日本人方に預けられている者
			Martha Weinberger	戸主	無職	51	5月22日東京牛込区早稲田鶴巻町300瑞穂館 方より移転
			Helene Weinberger	二女	無職	24	「夫Adolf Wilhelm Camillo Weinberger 大正六年一月死ス」
			H. Weiss	同居	無職	28	1893年生

136	ドイツ	山手町26	Richard Werdermann	戸主	無職 元山下町74汽船会社代理フィルム機械輸入ニロープ商会支配人	48	
137	ドイツ	山手町139	Matsue Werdermann	妻		35	
138	ドイツ	根岸町3570	Alfred Wilkens	戸主	無職 元仲買商	52	
			Elsa Winkler	戸主	山下町54汽船会社薬品染料機械輸入イリス商会タイピスト	28	
139	ドイツ	根岸町3651	E. Wohlgemuth	戸主	山下町198鉦山業染料輸入オットライマーズ商会技師	42	
140	オーストリア	根岸町3342	Ignacio Yelowitz	戸主	無職 元マニラニ於テ帽子製造業フナス	71	
			Sawa Yelowitz	妻		41	1874年生
			Regina Yelowitz	長女		6	

注. 「大正七年四月 神奈川県 敵国人並拳動取調一件 別冊神奈川県庁調査敵国人名簿」 4. 3. 1. 19-1) に基づき作成。  
 ((外務省記録「外国人ノ身分並拳動取調一件 別冊神奈川県庁調査敵国人名簿」 4. 3. 1. 19-1) に基づき作成。  
 その他の注記は本文参照。